

平成20年度 甲南学園 事業計画書

はじめに

私立大学の4割が入学定員を満たしていないという厳しい経営環境のなか、各私学はそれぞれの建学の精神や教育理念に基づいて特色ある教育・研究を行い、その存在価値を社会に問い、社会から厳しく評価を受ける「競争の時代」となっています。本学園は、この「競争の時代」を、甲南教育の個性を発揮する絶好の「機会」と捉え、規模の拡大を迫るのではなく、教育の質の深化を目指して、個性溢れる学園づくりに努めてまいりました。

平成20年度は、平成18年度から平成22年度までの5箇年を対象に「21世紀に輝く学園」づくりを目的に策定された中期経営計画の3年目にあたり、これまでの取組みの一層の展開を図るとともに、同計画の主要事業、

- ① 知能情報学部の開設（平成20年度）及び理工学部の再編（平成20・21年度）
- ② CUBE西宮「マネジメント創造学部」の開設（平成21年度）
- ③ FIRST「フロンティアサイエンス学部」及び「フロンティアサイエンス研究科」の開設、FIBER「先端生命工学研究所」のポートアイランドキャンパスへの移転（平成21年度）
- ④ 学園創立90周年記念募金事業（平成18年度から平成22年度）

を成功させることを最重要課題と位置付け、以下の事業に着実に取り組みます。

これらの取組みを通じて、甲南の追求すべき平生の夢「甲南100年の計」を実現するための第一歩を踏み出します。

I. 大学・大学院関係

1. 学部の新設・再編

(1) 知能情報学部の開設及び理工学部の再編

理工学部・情報システム工学科を母体とした知能情報学部を本年4月に開設します。また、理工学部においては、更なる充実を図るべく物理学科（本年4月）・機能分子化学科（平成21年4月）の再編を図ります。

(2) CUBE西宮「マネジメント創造学部」の開設準備

平成21年4月開設に向け、本年4月に設置の届出を行います。また、CUBE西宮キャンパスの整備、学事運営の準備、学生募集等に取り組みます。

(3) FIRST「フロンティアサイエンス学部」および「フロンティアサイエンス研究科」の開設準備

平成21年4月開設に向け、本年4月に設置の届出を行います。また、ポートアイランドキャンパスの整備、学事運営の準備、学生募集等に取り組みます。

2. 教育事業

(1) 学部教育充実のための多様な取組み

各学部の人材養成の目的を学則上に明記し、その実現に努めます。学部共通科目・専門科目群・基礎演習等の学士課程教育の充実編成、習熟度別語学クラス編成、実務家による授業

の拡充、チューター等を活用した個別指導による学習支援、e-learning コンテンツの充実と活用、ロースクールゼミ・アカウンティングプロフェッションコース等の専門職大学院連携教育の強化、アクティブスチューデントの育成等の多様な取組みに加え、本学大学院へ進学する優秀な学生を対象とした特例的な早期（3年次）卒業制度を新設します。また入学前教育、リメディアル授業、学修相談等の補完教育を充実させ、教育の質の向上を推進します。

(2) 大学院教育充実のための多様な取組み

本年度から、これまで受講要項に記していた各研究科・専攻の人材養成目的を学則上に明記し、その実現に努めます。

法科大学院においては、教育体制の点検・改善を図るとともに、修了生の司法試験初回受験を支える機能的な体制作りを図り、会計大学院においては、特別講師プログラム、研修生制度の充実等の学習指導体制を強化し、修了生初の公認会計士試験への対応を行います。

(3) 自己点検・評価の公開、及びFD活動の推進

大学基準協会による大学基準適合の認証評価をもとに、教育の質の向上に継続して取り組み、その結果について積極的に公表していきます。また、法科大学院の同協会認証評価への申請、会計大学院の認証評価申請準備を開始します。さらに、GPA 制度の検証、授業評価アンケートの分析・運用方法の検討、FD フォーラム・講演会の実施等、引き続き、FD活動を推進するとともに、特色ある教育の具現化を目指した「甲南 GP」等の活動推進を図ります。

※FD（ファカルティ・ディベロップメントの略）

教員の授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取組みの総称。

※甲南 GP

本学の特色として明確に打ち出せる教育改革の取組みを教職員に募集し、優れたプランは、文部科学省の「現代 GP」「特色 GP」に応募するとともに、全学的な支援体制を整えて実行することを目的としています。

(4) キャリア教育の推進

平成18年度文部科学省「現代GP」に採択された「価値創造のできる21世紀型教養人の育成プログラム」を実施し、新たに2年次配当の「キャリアゼミ科目」を開講します。また、次年度以降に予定されている「プラクティカル・キャリアデザイン科目」、「アドバンスト・キャリアデザイン科目」を一部試行的に実施します。

※現代 GP「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」

文部科学省が各大学からの応募を受け、学生教育の質の向上などの大学教育改革の取組を選定し、財政的なサポートや幅広い情報提供を行い、各大学などでの教育改革の取組を促進することを目的としています。

(5) 留学支援プログラムの推進

海外への留学生の大幅増をめざし、外国大学との協定に基づいて実施する「甲南プログレス・プロジェクト」の更なる拡充を図るとともに、構築された様々な派遣留学プログラムの定着を図ります。また、外国からの受入留学生が履修する授業科目を同プログラムの帰国学生等の本学学生も履修できるよう学則を変更し、積極的な学習への支援をします。

※甲南プログレス・プロジェクト

多様化する国際化社会において、国際人としての素養を身につけ、豊かな人格形成を実現するため、

ユニークなプログラムを海外の大学と共同で開発し、年間 100 名の学生を海外の大学へ送り出すプログラム。

(6) 学修支援の推進

履修指導の強化、教務システム・サービスの向上を図るとともに、学生相談室におけるグループプログラムを充実させます。

(7) スポーツ強化支援

平成 19 年度より開始した強化指定団体制度の充実と実践活動の検証を行うとともに、体育会課外活動団体への関心喚起と入部促進、学生生活・学修の指導等、スポーツ教育力の強化を狙いとした総合的なスポーツ強化支援策の本格稼動に向けた組織体制及び諸制度の整備を推進します。

3. 研究事業

(1) 平生太郎基金科学研究奨励助成

本学が世界水準の研究拠点となるような研究に対して平生太郎基金により奨励助成します。

※平生太郎基金科学研究奨励助成

学園創設者平生鈞三郎のご子息、平生太郎氏のご令室である故平生愛子氏から遺贈を受けた財産で、科学研究を奨励することを目的とした基金。平成 6 年より開始された学内の研究奨励助成制度。

(2) 私立大学学術研究高度化推進事業等の展開

文部科学省学術フロンティア推進事業、オープン・リサーチ・センター整備事業、社会連携研究推進事業等で採択された研究を継続します。

【私立大学学術研究高度化推進事業等の採択研究一覧】

(a) 学術フロンティア推進事業 ・先端生命工学研究所 「有用な人工生命分子創製のためのテーラーメイド・バイオケミストリー」 (平成16年度から5年間)
(b) オープン・リサーチ・センター整備事業 ・知的情報通信研究所 「知的情報ネットワークによる地域密着型教育の高度情報化に関する研究」 (平成16年度から5年間) ・量子ナノテクノロジー研究所 「ナノ構造システムにおける量子相関の研究」(平成17年度から5年間)
(c) 社会連携研究推進事業 ・ビジネスイノベーション研究所 「地域経済クラスター創造に向けての社会連携研究」 (平成17年度から5年間)

人間科学研究所は平成 10 年度から 2 期にわたる学術フロンティア推進事業の成果を踏まえ「心の危機の見極めと実践的ネットワークの創造」をテーマにオープン・リサーチ・センター整備事業へ、自然科学研究科は宇宙物理国際共同研究センター「活動する宇宙の物質諸相とそのダイナミクス」をテーマに学術フロンティア推進事業への採択をめざし、申請します。

(3) 先端生命工学研究所の研究活動の推進

ナノバイオ分野における研究連携拠点として、更なる高度な研究活動の展開と外部の研究

機関等との連携を図るとともに、研究成果を教育活動に還元すべく F I R S T「フロンティアサイエンス学部」の開設準備と連携を図ります。

(4) 研究支援体制の強化

平成19年度に整備した「学術研究奨励制度」を活用し、科学研究費補助金の獲得を強化するとともに、その他の研究開発事業に係る各種助成金の積極的獲得を図る研究活動の支援体制を強化します。また、公的研究費の不正使用防止体制を構築し、科学研究費補助金を中心とした公的研究費の執行にかかる各種ルールを整備し、公的研究費の適正な管理と執行に努めます。

(5) 知的財産管理体制の強化

「知的財産ハンドブック」の改訂、発明・特許申請に関する業務フローの見直し等を行い、発明の取り扱いについて教職員への周知、浸透を図るとともに、利益相反およびリスクマネジメントに関する検討を始めます。

4. 学生支援事業

(1) 奨学金・表彰制度の充実

90周年募金事業の目的の一つである給付制奨学制度を甲南90周年栄誉スカラシップとして創設・実施します（募集は平成24年度まで）。また、優秀な学生への各種給付制奨学制度や留学、教職等を目指す者に対する目的別貸与制奨学制度、成績優秀者の表彰制度等の充実を図ります。

(2) 学生生活の活性化

学生が主体となる活動を促進させることを目的とした各種表彰と学生からの企画を助成する「甲南21クリエイティブ・プラン」を実施し、学生のモチベーションの高揚と目標の達成を支援します。

(3) キャリア形成・就職支援

学部の特性を考慮したプログラム、マナー教育、インターンシップ・ボランティアプログラム、「企業研究講座 in TOKYO」等を継続実施するとともに、卒業生の支援強化と保護者からの相談対応等を通して、キャリア形成・就職支援の充実・発展を図ります。

(4) 教員志望者への支援

教職教育センターとして、年次別の講演会や教員採用試験に向けた特別プログラムを引き続き実施し、卒業生教員との交流、採用情報の収集と提供等に努めます。また、教職教育センター内に共同研究・実習室を設置、教員経験者を配置した相談コーナーや模擬授業、個人研究のできる環境を整備し、教職志望者の学修から就職までを一貫して支援します。

(5) 保護者の方々との協力関係の構築

父母の会との関係強化を図ります。なお、保護者の方々に学生生活の理解と関心を深めていただくことを目的とした「教育懇談会」は、本学岡本キャンパスのほか、地方（名古屋・福岡、広島・松山）で年2回開催して、協力関係構築に努めます。

5. 社会連携・貢献事業

(1) 地域貢献の推進

神戸市東灘区をはじめとする地域、教育委員会との各種連携協定等に基づき、まちづくり

の推進、教育・文化の振興等の事業に取り組みます。また、文学部を中心とした「地域連携プロジェクト」の展開、図書館・サイバーライブラリの地域公開利用、スポーツ・健康科学教育研究センターによる地域住民を対象とした体力測定等に取り組みます。

※地域連携プロジェクト

本学の教育理念と本学が立地する地域ニーズを背景として、神戸市東部～芦屋市や西宮市にまたがる阪神間文化圏における「新たなコミュニティの創生」に学生、教職員がともにかかわりながら、大学が地域とコミュニケーションする教育プログラム。

(2) 高大連携の推進

SPP 事業、連携授業、出張講義や体験型実験教室等による高大連携事業を推進します。

※SPP 事業（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクトの略）

科学技術振興機構が、児童生徒の科学技術、理科・数学（算数）に対する興味・関心と知的探究心を育成することを目的に、学校、教育委員会等管理機関と、大学・科学館等との連携を推進するための事業。

(3) 産官学連携の推進

「研究シーズ集」の発行、各種フェアへの出展に加え、新たに、科学技術振興機構の支援制度による「甲南大学技術説明会」を開催し、受託・共同研究や技術相談等、本学の知的財産を広く社会のために活用するための事業を推進します。

(4) 生涯学習の支援

社会人講座、各種シンポジウム、公開講座、「ひょうごオープンカレッジ」、ジュニアスポーツ教室等を通じて、生涯学習の機会を社会・地域に提供します。

6. 環境整備事業

(1) 新キャンパスの開設

新学部・研究科設置及び先端生命工学研究所移転に伴う、西宮、ポートアイランド両キャンパスが計画どおり開設できるよう全力で取り組みます。

(2) 安全管理の強化

研究施設の安全管理を徹底するために排気ガス処理装置、漏電アラーム等の更新・整備を進めます。

(3) 情報インフラ整備の推進

教育、研究、社会貢献を支える先端的情報環境を提供、維持するために「新情報教育システム」の安定稼動と利用促進にとりくみ、Windows Vista へのバージョンアップの時期を検討します。また、学内 LAN を更新し、情報ネットワークの高度化、高速化、コアスイッチを二重化することにより冗長化を図ります。

(4) 快適・安心なキャンパス構築の推進

キャンパス内の有事対応発電設備の整備、避難経路図等のサインの見直し、歩車道の分離等セキュリティを高めるとともに、講堂兼体育館等の空調工事、主要校舎の自動ドア設置、学生厚生施設内のトイレ改修、屋外ベンチの整備等のアメニティの向上を図ります。

7. 学生募集・入試に係る各種事業

(1) 学生募集活動の強化と入試制度の検討

本学志願者の増加傾向の維持を図るべく、高校生対象の説明会に加え、高等学校教員を対象にした説明会等を実施し、学生募集活動を強化します。また、インターネット上で出願ができる体制をさらに整備し、志願者の利便性を高めます。

(2) 協定校入試の実施と協定校との連携

平成 19 年に締結した「甲南大学と神戸市立六甲アイランド高等学校との推薦入学制度に関する協定」に基づき、新たな推薦入学制度を導入します。また、他のいくつかの高校とも協定締結を進めます。

※高大連携活動を通じての両校の教育理念・教育方針についての相互理解のもと、大学の教育内容を深く理解し、入学意欲の高い入学者を高校の推薦により、一定数一定期間、大学が継続して受け入れる推薦入学制度（協定校推薦制度）。

(3) 指定校推薦入試の推薦依頼校との交流及び推薦入学者の入学前教育の充実

指定校推薦入試の推薦依頼校との交流を強化するとともに、推薦入学者の入学前教育の充実を図ります。

(4) 大学院入試制度の多様化

専門職大学院の志願者増をめざし入学試験の時期、内容等の見直しを図ります。また、多種多様な説明会を実施、ホームページを活用したリアルタイムな情報提供等を行い、募集活動を強化します。

Ⅱ. 高等学校・中学校

1. 教育事業

(1) 中高6年一貫教育システムの構築

甲南大学、そして世界の大学を目指す中高6年一貫（2-2-2、基礎・応用・発展）の新教育システムを進化・発展させるために、①人間力・対話力の充実に向けた日本語・国際語の言語リテラシーの養成強化、②キャリア・ビジョン養成のための「キャリアリサーチ」科目の充実、③進路選択にかかわるコース再編、④国際交流活動の更なる充実を図ります。

(2) 甲南一貫教育の実現

平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育を実現するために、①中学校1年生を中心とした平生講座の新設、②OBワークショップなどによる卒業生や学年を超えた学友たちとの豊かな人脈形成、③e-learningなどによる高大連携教育の充実、④甲南小学校との連携を強化し、また甲南女子中学校・高等学校とも連携して異年齢・異性との共生を考える三学園環境教育を実施、⑤高等学校入試と収容定員の見直しを図り、少人数教育を充実させます。

(3) 伝統に根ざすイノベーションを実現する体制

アドバイザー・コミッティと連携し、教育に関する助言等を得て、中高6年間一貫教育システムの更なる発展を推進します。

また、教員組織活性化のための組織・人員体制の強化や教員研修制度の充実を図ります。

2. 学習活動・学校生活支援事業

学力向上を目指した日常の学習意欲喚起の体制を構築するため、①7限授業の設置、②学習センターでの学習支援の充実、③メールマガジンやe-learningを活用した家庭学習との連携や海外提携校とのクラブ間交流を推進します。

3. 環境整備事業

(1) 新体育館施設建築計画の推進

学園創立90周年事業である新体育館施設の建築計画を推進します。甲南スポーツの強化・発展を目指し、生徒の心身を鍛えて徳・体力を増進し、人物教育率先「甲南100年の計」実現を目指します。

(2) 既存建物の耐震性向上

既存建物の耐震性向上を図るため、改修計画を立案します。

4. 附属校間連携事業

全国大学附属校サミットの開催校としてサミットを主導し、甲南高等学校・中学校の取組みを広く発表するとともに、全国の大学附属校との連携を強化します。

Ⅲ. 法人

1. 学園創立90周年記念募金事業の推進

学園創立90周年記念募金事業の継続的な募金を働きかけ、①創立者平生鈆三郎記念教育振興事業、②六甲アイランド総合体育施設整備事業、③高等学校・中学校新体育館整備事業を推進します。平生鈆三郎記念教育振興事業については、昨年度、「甲南90周年栄誉スカラシップ規程」(大学)、「甲南90周年オナースカラシップ規程」(高等学校・中学校)を制定し、奨学金の給付を始めており、六甲アイランド総合体育施設整備事業と高等学校・中学校体育館整備事業については具体化に向けて事業計画の立案を図ります。

2. 管理運営・財政

(1) ガバナンスの強化

教育・研究機関としての社会的責任を果たすべく、公的研究費の不正使用防止等のコンプライアンス体制を強化し、組織的制度的な基盤を整備します。

(2) 新人事給与制度の構築及び職員組織体制の見直し

学園の発展と個人の成長が相関する新人事給与制度を構築し、教育の質的向上を図るとともに、より高いレベルの学園行政を担うべく職員組織体制を見直します。

(3) 健全な財務運営及び財務情報の公開

中期経営計画主要事業の動きに応じて、資金計画、収支予測を見直し、全体像の個々の事業の状況を随時開示できるよう、情報の収集とデータの整備を行います。

(4) 施設設備の適正管理及びコスト削減の実施

施設設備の棚卸とファシリティマネジメントを推進し、資産の適正化と最適化を図ります。また、事務部門のOSのバージョンアップとレイアウト変更を行い、業務の効率化、コストの削減に取り組みます。

(5) ネットワークキャンパス東京における首都圏活動の強化

首都圏におけるキャリアセンターの就職活動支援を強化するために、卒業生による就職サポートのためのネットワーク(KOMNET)のさらなる充実を図ります。また、一般社会人を対象とした公開講座の定着と「ネットワークキャンパス東京」の遠隔教育システムや講義室の更なる利用促進を図ります。

(6) フランス甲南学園トゥレーヌ第二次創成計画アクションプランの推進

フランス甲南学園トゥレーヌと一体となって「第二次創成計画アクションプラン」を推進し、生徒募集活動の強化と円滑な業務運営体制の構築を図ります。

3. 広報活動・卒業生との連携事業

(1) 広報活動の充実・強化

中期経営計画主要事業の展開を軸に、戦略的な広報活動を展開し社会的なブランド強化を図ります。また、創立者平生鈆三郎の日記の公開に向けた作業を引き続き進めます。

(2) 卒業生との連携強化

同窓会、各地甲南会との連携強化を図るとともに、同窓生とのネットワーク強化、卒業生の学園への理解を深めていただくことを目的に「オール甲南の集い」を開催します。また、顕著な活躍をした卒業生を招いた講演会を企画します。